



東中学校だより

令和8年1月15日 第15号

文責 校長 沼野 友宏

学校教育目標 ○進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○身体をきたえる生徒

今年の干支は午（うま）

遅れてしまいましたが、あらためまして、明けましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。本年もよろしく願いいたします。

さて、始業式には、インフルエンザ等で欠席した生徒もほとんどなく、多くの生徒は、元気な顔で登校し、嬉しく感じました。そして、式の中では、校長の言葉として、次のような話をしました。

冬休み中、大きな事故等もなく、こうして始業式で元気な顔の皆さんと会えたことを嬉しく思います。冬休みは、家族の一員として、年末の大掃除などの年越し準備、年始の挨拶回りなどこの季節ならではの体験をし、充実した時間を過ごすことができたでしょうか？

さて、今年は午年です。十二支の中でも力強さと躍動感を象徴する「午」。古くから人間の生活に深く関わってきた馬は、多くのことわざなどで表され、私たちに人生の知恵を伝えていきます。今日は、馬にちなんだことわざをふ二つ紹介します。

ひとつ目は、「馬に乗ってみよ、人には添うてみよ」ということわざです。これは、「馬の良し悪しは実際に乗ってみなければわからないし、人柄も付き合ってみなければわからない」という意味です。何事も、見聞きするだけではなく、実際に経験してみるものの大切さを教えてくれています。現代は、インターネットやAIで簡単に色々なことを調べることができます。しかし、実際に体験することでしか得られない学びがあることを、このことわざは教えてくれています。2年生は、今月、修学旅行を控えています。実際に、京都奈良の文化や伝統を見聞きし、先人の知恵や技の一端を五感で感じてきてください。そして、生徒のみなさん、新しい年の始まりに、何か新しいことに挑戦してみるのも良いかもしれません。

二つ目は、みなさんも聞いたことがあると思いますが、「馬の耳に念仏」といことわざです。これは、馬に念仏を聞かせても意味がわからない。つまり、どんなに良い話をしても理解できない人には無駄だという意味です。少し皮肉な表現ですが、このことわざは「伝え方」の大切さも教えてくれています。仲間とのコミュニケーションでも、同じことが言えるかもしれません。良かれと思って、アドバイスをしても、伝え方や言い方によっては相手に正確に理解されず、誤解を生む、心に届かないことがあります。自分の考えや思いを積極的に言うことは、自分を表現する上で大切なことですが、その際、相手の立場や経験などを理解しながら言葉を選び、遣うことも大切です。是非、言葉遣いにも注意してみてください。

最後に、3学期は仕上げの学期になります。特に、3年生はもうすぐ受験本番です。自分の道は、自分で切り拓くしかありません。今やることに全力を尽くせば、必ず道は拓けます。大切なのは当日だけではなくそれまでの準備です。準備8割本番2割とも言います。しっかり準備することができれば、必ず成功します。3学期の授業日は、3年生は45日、1、2年生は52日しかなく、一番短い学期になります。仲間や先生方と一緒によい卒業式、よい修了式が迎えられるよう授業への取組、仲間との関わり、身の回りの整理整頓など、ひとつひとつ最後まで丁寧に取り組んでいきましょう。

地域の方からの手紙

昨年末、ある地域の方が階段から転落しそうな危険な状況を本校の生徒が防ぎ、そして、その後の応答に対して生徒の人柄の尊さに感激したと、先日、その方から丁寧にお手紙をいただきました。

差出人の方が階段を踏み外した瞬間、その場に居合わせて生徒が、迷うことなく、身を挺して庇い、その方は転落せず事なきを得たそうです。ただ、庇った生徒は、バランスを崩し、階段から落ち、全身を打ったそうです。名前を聞いたところ、その生徒は「大したことはしていないので、遠慮させていただきます。」と名前を名乗るのを丁寧に断ったそうです。自身の行動を誇ることなく、手助けすることを当たり前のこととして受け止めるその姿勢に、深い感銘を受けたそうです。

その後、着用しているジャージの名札から名前を知ることができましたが、この一連の行動は、勇気・思いやり・謙虚さを兼ね備えた、他の生徒の皆さんの模範となる行為であると強く感じておりますと書かれていました。

併せて、このような生徒が育っている東中の教育と日頃の指導に心から敬意を表しますとともに、本校の益々の発展と生徒の皆さんの健勝を祈念いたしますとも書かれていました。

手紙を受け取った後、その生徒と校長室で話をしました。確かにそのようなことがあったが、そんなに大したことをしたわけではありませんと謙遜していました。その場に居合わせたら、とっさにそのような行動をとることができるかどうかわかりません。迷うことなく、そのような行動をとることができたことが素晴らしいことだと思います。

生徒（子ども）の教育は、学校単体で行うものではなく、家庭や地域との協力があってこそそのものです。今回、地域の方から手紙をいただいたことも教育の一端だと思います。手紙をいただかなければ、この生徒の行いを知ることはありませんし、学校内等に広く知らせることもできませんでした。そして、このような生徒が育っていることを誇らしくも思いました。ただ、学校教育よりもこのご家庭での小さい頃からの子育てあるいはしつけによるものが大きいと思います。

引き続き、家庭や地域と協力しながら生徒のより良い成長を目指し、教育を進めてまいりますので、ご理解ご協力のほど、お願いいたします。

体調管理に細心の注意を

既に筑波大附属坂戸高校や県外私立高校の入試が始まっていますが、いよいよ1月22日（木）より県内私立高校の入学試験を皮切りに、本格的に高校入試が始まります。ここまで、3年生は公立、私立を問わず、夏休みや2学期の週休日に行われていた希望校の説明会や体験会、相談会、文化祭などに積極的に参加し、情報を収集し、三者面談等を通して、受験校を決定してきました。「準備8割本番2割」で最後まで努力してください。全員の進路希望が実現することを期待しています。

3年生全員の進路決定に向け、3年職員を中心に学校としても全力で指導してまいります。

「あせらず、あきらめず、あなどらず、最後までがんばれ！ 3年生！！」

また、2年生は同日から2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に行きます。今まで、実行委員会を中心に、学級や班で協力して準備を進めてきました。金閣寺・清水寺・法隆寺など世界遺産の数々を間近で見、その素晴らしさを味わってきてください。そして、友の良さを再発見し、友情や絆を深める3日間としてきてもらいたいと思います。

さて、報道等によると、インフルエンザB型が例年にくらべて早く流行の兆しが見えてきているそうです。また、本校でもインフルエンザB型を発症した生徒が散見されてきています。先月、インフルエンザA型が大流行し、本校では学校閉鎖の措置を講じました。その頃、多くの生徒が罹患しましたが、インフルエンザB型に感染しないということではありません。高校入試や修学旅行に向け、感染症に罹患しないよう一人一人がマスク着用、手洗い、うがい、十分な休養などの感染予防を心掛けてください。